

# つれづれ

平成29年2月14日(火)

## 横綱稀勢の里に学ぶ



本日は、久しぶりに全校集会をおこなうことができました。一時期のことを考えれば体調不良の人も減りましたが、まだまだ風邪のシーズンは終わっていません。しっかりと体調管理をしましょう。

今朝の集会は、天候のこともあり、話を短く切り上げましたので、その続きを書きます。

日本の国技である相撲。その最高位は横綱ですが、長らく日本人横綱不在の時期が続きました。しかし、19年ぶりの日本出身横綱(第72代)稀勢の里が誕生しました。

相撲ファンでなくとも嬉しくなる話題ではないでしょうか。

1月に行われた昇任伝達式後の記者会見の時、稀勢の里が記者の質問に答えた内容で、心に残ったことを以下に記します。

ーこの日をどんな気持ちで迎えたか

「今までお世話になった人への感謝の気持ちでここに臨んだ」

ー伝達式を終えた心境は

「より一層気が引き締まった」

ー入門からの道のりを振り返ると

「いい経験をたくさんさせてもらった。本当に人に恵まれた。自分一人では乗り切れなかった15年間だった」

ー苦しい時期もあったのでは

「ダメな時も声をかけてくれる人もいたし、助けてくれる人もいた。感謝しかない」

ー目指す横綱像は

「横綱は常に人に見られている。稽古場はもちろん、普段の生き方も見られている。そういう部分も人間的にも成長して尊敬される横綱になっていきたい」

今朝の集会で、稀勢の里の魅力は「勝っておごらず負けて腐らず」にあると言いました。このことに加えて「謙虚」「誠実」「努力の人」という稀勢の里の人物像が見えてくる記者会見だったと思います。

最高位に上り詰めても、人としてぶれない稀勢の里の姿勢に、横綱の品格を感じるとともに、私たちが大いに学ぶべきことがたくさんあるのではないかと思います。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>